岡村繁『白氏文集 四』（明治書院・新釈漢文大系、1990 年）より俗語の語釈

an　諳：p.293／充分に心得ている。
ba　把：p.441／……を。当時の俗語。
ban　半是：p.308／半分は。
ban　半百：p.278／五十歳。百年は人の一生をいう。
ben　本自：p.094／本来。もともと。自は接尾辞。
bi　彼此：p.379／双方。六朝以来の俗語。
bi　必将：p.515／必当。必ず……しなければならない。
bian　便：p.013／このまま。
bian　便：p.137／すぐさま。即の俗語。
bian　便：p.203／すぐさま。
bian　便：p.254／そのまま。すんなりと。
bian　便：p.288／気に入る。
bian　便：p.362／簡単に。手軽に。
bie　別：p.312／識別。よさがわかる。六朝以来の俗語。
bie　別：p.404／格別、特別。
bo　博：p.069／交換する。引き換える。当時の俗語。
bu　不縁：p.377／不由。……のためでなかったら。
bu　不肯：p.029／……する気がない。
bu　不合：p.430／……するはずがない。
bu　不勝：p.302／支えきれない。
bu　不須：p.040／……する必要はない。当時の俗語。
bu　不須：p.090／……する必要はない。当時の俗語。
bu　不是：p.311／文語の非。
bu　不成：p.293／まさか……ではあるまい。当時の俗語。
bu　不妨：p.205／……しても差し支えない。当時の俗語。
bu　不妨：p.288／はなはだ……だ。当時の俗語。
bu　不妨：p.393／……しても差し支えない。当時の俗語。
bu　不用：p.257／……する必要はない。当時の俗語。
cai　纔：p.002／やっと。
cai　纔：p.036／やっと……になったばかりで。当時の俗語。
cai　纔：p.308／……するや否や。当時の俗語。
cai　纔：p.382／……するや否や。当時の俗語。
cai　纔応：p.057／やっと今しがた……したばかりのはずだ。
can　慙：p.009／ありがたく思う。当時の俗語。
can　慙：p.110／かたじけなく思う。当時の俗語。
can　慙：p.250／感謝する。当時の俗語。

ceng　曾：p.234／乃。思わず。思いがけなく。
ceng　曾経：p.273／かつて。当時の俗語。
ceng　曾経：p.375／かつて。
chang　長：p.248／常に。
chang　長：p.274／常に。
chang　長短：p.156／要するに。当時の俗語。
chang　長短：p.280／結局。当時の俗語。
chao　嘲：p.387／吟詠する。六朝以来の俗語。
cheng　誠：p.129／たしかに。なるほど。下に必ず逆接の文句が来る。
chi　遅廻：p.362／ぐずぐずする。
chu　処：p.270／時。当時の俗語。
chu　初：p.316／……したばかりの時。上句の後と対応する語。
chu　初：p.438／動詞を修飾する場合は、……したばかりの意。
chu　除非：p.185／只有に同じ。ただ……だけがありさえすれば。当時の俗語。
chun　春：p.308／酒。唐人の隠語。
ci　此去：p.122／ここ。去は処の意。当時の俗語。
ci　此中：p.239／ここ。「此の中に」と読むのは誤り。六朝以来の俗語。
ci　此中：p.356／ここ。六朝以来の俗語。
cong　従許：p.393／まかせる。従聴も同じ。珍しい当時の俗語。
cong　従容：p.021／ゆっくり逗留すること。動詞。当時の俗語。
cong　従来：p.149／もともと。当時の俗語。
cun　存問：p.142／安否を問うこと。慰問。
da　大底：p.288／おおむね。
da　大抵：p.147／おおむね。すべて。
da　大都：p.273／おおむね。当時の俗語。
dan　但：p.119／ただ……しさえすれば。
dan　但：p.369／もし。当時の俗語。
dan　但恐：p.296／……だけが気がかりだ。
dan　但是：p.060／あらゆる。すべての。当時の俗語。
dan　但知：p.193／ただ……を知ってさえおれば。
dan　但道：p.254／ただ……と思いさえすれば。珍しい用語。
dao　信道：p.238／信じる。道は意味のない接尾辞。当時の俗語。
dao　到：p.442／……に。到達を表す前置詞。
dao　道：p.316／言う。漢代以来の俗語。
de　憶得：p.375／思い出している。得は進行を表す接尾辞。
de　会得：p.197／会は理解する。得は可能を表す接尾辞。
de　学得：p.077／得は可能を示す接尾辞。
de　記得：p.300／記憶している。得は程度を示す接尾辞。当時の俗語。

de　求得：p.440／得は動作の完成を示す接尾辞。
de　召得：p.411／召は招と同じ。得は達成を表す接尾辞。
de　認得：p.350／記憶している。認は記憶。得は完了を表す接尾辞。いずれも当時の俗語。
de　悩得：p.385／すっかり悩ましてしまう。得は完成を示す接尾辞。
de　把得：p.164／得は完了を表す接尾辞。
de　買得：p.329／得は結果を示す接尾辞。
de　暎得：p.053／暎は隠に同じ。おおいかくす。価値をなくする。当時の俗語。得は可能を表す接尾詞。
de　醉得：p.381／酔える。得は可能を表す接尾辞。
deng　等閑：p.288／心まかせに。当時の俗語。
deng　等閑：p.437／場当たり次第に。当時の俗語。
deng　等量：p.305／ひき比べる。当時の俗語。
di　底：p.102／何。六朝以来の俗語。
di　底：p.127／中。裏。当時の俗語。
di　底：p.197／裏。なか。当時の俗語。
di　底事：p.173／何事。当時の詩語。
dian　点：p.121／軽くたたく。
dian　点：p.440／指し示す。
dou　都：p.296／全く。下の打消を強める副詞。
du　独自：p.221／ただひとり。自は軽い接尾辞。当時の俗語。
du　独自：p.278／ひとり。自は軽い接尾辞。当時の俗語。
duan　占断：p.390／ひとりじめする。断は強調の接尾辞。
duan　断：p.074／尽きる。消える。当時の俗語。
duo　多：p.060／ただそれだけ。
duo　多：p.168／祇と通用。ただ……ばかり。
duo　多：p.203／ただ。ひたすらに。
duo　多：p.209／しばしば。
duo　多：p.288／ただ、外でもなく。
duo　多時：p.248／長い間。
duo　多少：p.066／どれほどとも知れない。無数の。当時の俗語。
duo　多少：p.101／どれほどの。当時の俗語。
duo　多少：p.132／どれほど。疑問詞。当時の俗語。
duo　多是：p.179／全部……ばかりである。当時の俗語。
duoshao　知多少：p.385／いったいどれほどだろうか。定めて多いことであろう。多少は疑問詞。その上の知は、不知に同じ。いったい。
e　悪官職：p.127／微官。悪は醜劣の意。謙辞。
er　爾乃：p.514／発語の辞。ところで。さて。
er　而：p.524／乃。始めて。

er　而已矣：p.477／『論語』に特徴的な限定の強調助字。
fan　反：p.379／あべこべに。
fan　煩：p.333／……してもらう。
fan　翻：p.347／かえって。当時の俗語。
fang　放：p.095／許す。
fang　方：p.161／今や。
fang　方：p.353／方才。やっと。
fen　分：p.097／去声。機縁・運命。当時の俗語。
fen　分：p.137／運命。
fen　分：p.239／分明。了解。当時の俗語。
fen　分：p.403／惰分。親友間の情誼。六朝以来の俗語。
fen　分寸：p.338／少しも。毫も。下に続く「酬未得」句に掛かる。
fen　分明：p.140／聡明。
feng　風情：p.129／色気。当時の俗語。
fou　否：p.077／疑問詞。
fu　還・復：p.140／還は循環、復は反復を表す投間詞。
fu　夫惟：p.498／夫唯・夫維も同じ。特に『老子』に多く慣用される発語の辞で、主題に注意を喚起する想起詞。そもそも。
fu　復：p.127／意味のない間投詞。
fu　復：p.154／疑問の語気を表す副詞。いったい。
fu　復：p.210／反復を表す投間詞。
fu　復：p.386／つづいて。
fu　復：p.408／並列を示す助字。与。
fu　復：p.414／いったい。疑問の語気を表す副詞。当時の俗語。
fu　復：p.555／つづいて。
gan　敢：p.142／あつかましくも、これ以上。
ge　格是：p.330／隔是。すでに。当時の俗語。
geng　更：p.011／更是。いったい。下の疑問を強める副詞。
geng　更：p.041／かえって。
geng　更：p.375／豈。どうして。当時の俗語。
geng　更合：p.301／互いに足並みをそろえる。当時の俗語。
geng　更無：p.133／全く無い。
geng　更無：p.364／全くない。更は打消を強調する副詞。
gong　共：p.090／与と同義。
gong　共：p.321／与。と。当時の俗語。
gong　共思：p.075／しみじみと思う。共は、甚だ、深くの意。当時の俗語。
gong　将・共：p.081／文語の与と同義。当時の俗語。
gu　故故：p.188／ことさら、わざと、故意に。当時の俗語。

guan　慣：p.325／縦容。のびのびとする。当時の俗語。
guan　慣：p.346／縦容。ゆったりする。当時の俗語。
gui　且貴賞心并：p.117／貴は欲す。当時の俗語。……
gui　貴：p.127／欲す。
hao　好：p.219／……するのにもってこいだ。当時の俗語。
hao　好：p.246／勧奨の語気を添える句末助字。
hao　好：p.262／よしひとつ……してやろう。当時の俗語。
hao　好：p.375／……するのに最適だ。当時の俗語。
hao　好：p.413／ひとつ……してやろう。当時の俗語。
hao　好：p.440／よしひとつ……してやろう。当時の俗語。
hao　好看：p.346／よく世話をする。看は世話をする。看守・看病の看。
hao　好去：p.107／自愛せよ。当時の挨拶語。
hao　好去：p.227／居残る人が旅立つ人に送るあいさつ語。お元気で。ごきげんよう。当時の俗語。
hao　好在：p.133／ご健在か、お達者か。当時の挨拶語。
hao　好在：p.169／当時の挨拶語。御機嫌よう。御健在で。
hao　好住：p.205／挨拶語。好在。御健在で、御機嫌よう。
he　何事：p.181／どうして。なぜ。六朝以来の俗語。
he　何事：p.356／どうして。なぜ。
he　何曾：p.127／どうして今までに……したことがあろうか。
he　何如：p.236／……に比べてどうか。……の方がましだ。俗語は何似。
he　何物：p.119／何。六朝以来の俗語。
he　何物：p.185／なに。六朝以来の俗語。
he　何用：p.428／どうしてその必要があろうか。必要はない。
he　嚇：p.102／こわがらせる。当時の俗語。
he　合：p.088／当然。
he　合：p.377／応。きっと……するにちがいない。
he　合当：p.267／当然それだけの価値がある。
he　亦何必：p.498／亦は、それだのに。何必は、どうして……する必要があろうか。なにも……する必要はあるまい。
he　和：p.416／……もろとも。当時の俗語。現代語の「連」。
hu　戸大：p.291／上戸。大酒飲み。戸は飲酒の程度。当時の俗語。
hu　忽：p.280／たまたま。
hu　忽：p.343／ほのかに。なんとなく。
hua　話：p.322／語の俗語。
huan　還・復：p.140／還は循環、復は反復を表す投間詞。
huan　還・亦：p.265／前と同様に。還は循環、亦は再現の語気。
huan　還・又：p.184／還は循環の語気を含み、今年もやはり。又は添加の語気を含み、今年も

重ねて。

huan　還：p.205／やはり同様に。

huan　還：p.239／反復循環を表す助字。

huan　還：p.291／それでもなお。

huan　還：p.329／逆接を表す副詞。しかし、反対に。当時の俗語。

huan　還：p.362／やはり。

hui　会応：p.127／必ず……にちがいない。

hui　会応：p.138／必ず……するはずだ。当時の俗語。

hui　会得：p.197／会は理解する。得は可能を表す接尾辞。

hui　迴看：p.053／ふりかえって見る。当時の俗語。

huo　或擬：p.404／……しようかとも思う。

ji　寄与：p.150／送る。与は、上の動詞の添え字。与えるという意を添える。当時の用語。

ji　幾箇：p.253／いくつ。当時の俗語。

ji　幾多：p.075／許多。たくさん。当時の俗語。

ji　幾多：p.162／幾許。どれほど。当時の俗語。

ji　幾多：p.255／許多。少なくない。当時の俗語。

ji　幾多：p.302／幾許。多少。どれほど。当時の俗語。

ji　及夫：p.478／……に至って。夫は特に意味のない助語。

ji　及夫：p.525／至る。夫は添え字。

ji　即：p.491／そのまま。

ji　即此：p.378／ほかならぬこれこそが。即は下の此を強く正面に押し出す副詞。当時の俗語。

ji　即是：p.147／……である。……にほかならない。当時の俗語。

jian　間：p.007／つぎつぎに。

jian　兼：p.137／その上。

jian　兼：p.147／その上。

jian　兼：p.375／全く。下の否定を強調する副詞。当時の俗語。

jian　見：p.066／聞く。当時の俗語。

jian　見：p.098／知る。当時の俗語。

jian　見説：p.035／ふつう……と言われている。当時の俗語。

jian　見説：p.045／ふつう……と言われている。当時の俗語。

jian　漸：p.258／久しからず。近いうちに。当時の俗語。

jiang　将・共：p.081／文語の与と同義。当時の俗語。

jiang　将：p.061／……を。以の俗語的用法。

jiang　将：p.102／いったい。

jiang　将：p.168／以の俗語。

jiang　将：p.294／与に同じ。

jiang　将：p.373／……をもって。以・把に同じ。

jiang　将：p.389／用。……で。当時の俗語。
jiang　将：p.487／必ず。
jiang　将：p.497／与。
jiang　将：p.540／与と同義。
jiang　将為：p.444／……とばかり思っていた。当時の俗語。また将謂・将作にも作る。
jiang　将謂：p.057／……とばかり思っていたら。六朝以来の俗語。
jiang　将何：p.256／文語の何以。どんな理由によって。
jiang　将欲：p.506／欲する。
jiang　移将：p.329／将は単なる接尾辞。当時の俗語。
jiang　把将：p.078／把は手で持つ。将は、動詞のそえ字。俗語的用法。
jiang　偸将：p.375／かくす。将は単なる動詞の接尾辞。
jiang　攜将：p.397／ひきつれる。将は軽い接尾辞。
jiang　飄将：p.038／舞い上げる。将は飄の接尾辞。当時の俗語。
jiao　教：p.147／使。使役の助動詞。
jiao　交親：p.003／親しい友人。当時の俗語。
jiao　交親：p.347／親友。当時の俗語。『白氏文集』にも用例は多い。
jiao　校：p.159／較。……よりも。当時の俗語。
jiao　校：p.162／較。くらべる。
jiao　校：p.239／較。その差。当時の俗語。
jiao　校：p.347／較。比較的。当時の俗語。
jiao　校：p.350／較。あの当時にくらべて。当時の俗語。
jie　解：p.153／能。できる。当時の俗語。
jie　解：p.444／できる。当時の俗語。
jie　借：p.095／仮に取り繕って表現する。この詩では、白居易の謙譲的表現となる。
jie　借：p.420／助ける。
jie　嗟：p.107／不思議がる。当時の俗語。蒋礼鴻『敦煌変文字義通釈』（増訂本）p.253 参照。
jin　今朝：p.087／今日。当時の俗語。
jing　景気：p.358／山川風物のおもむき。
jing　竟：p.296／結局は。
jing　竟日：p.140／終日。
jiu　就：p.524／在。
jun　君子哉：p.547／まことに君子だね。『論語』にしばしば見える感嘆の語。
kai　開眉：p.414／ぱっと明るい顔になること。当時の俗語。
kan　堪：p.121／充分に価値がある。
kan　堪：p.302／……に価する。
kan　堪：p.329／充分……するに価する。
kan　堪：p.391／ちょうどよい。
kan　看：p.107／接待。応接。当時の俗語。唐の高適「同群公、十月朝、……

kan　看：p.110／接待。当時の俗語。上文の「戯贈戸部李巡官」詩（1100）参照。
kan　看：p.153／白居易自身の意志を表す句末詞。当時の俗語。
kan　看：p.382／看待。取り扱い。当時の俗語。
kan　看取：p.101／とくと見る。取は単なる接尾辞。当時の俗語。
kan　好看：p.346／よく世話をする。看は世話をする。看守・看病の看。
kan　嘗看：p.150／看は、ためしに……してみて下さい。丁寧な勧誘を表す接尾辞。
ke　可：p.032／豈。当時の俗語。
ke　可：p.299／豈。当時の俗語。
ke　可：p.362／豈。反語の副詞。当時の俗語。
ke　可：p.382／豈。どうして。当時の俗語。
ke　可：p.415／豈。反語の助字。当時の俗語。
ke　可無期：p.429／どうして会う機会がないだろうか。必ず会える。可は反語の副詞。豈。
ke　可憐：p.102／喜ばしい。当時の俗語。
ke　可憐：p.323／強い感動を表す。ああ、なんともすばらしい。
ke　可憐：p.422／なんともすばらしい。深い思い入れを表す感嘆詞。
ken　肯：p.054／……する気がある。
ken　肯：p.419／反語。どうして。
kong　恐是：p.390／恐らく。是は接尾辞。
kong　空：p.183／むざむざと。
ku　苦：p.187／どんどんと情け容赦なく。
kui　媿：p.142／かたじけない。慚・慚愧も同義。当時の俗語。
kun　困：p.315／疲れる。
lai　怪来：p.179／疑っていた。来は現在完了を表す接尾辞。
lai　怪来：p.280／来は動作の現在完了を表す接尾辞。……していた。
lai　衰来：p.035／来は動作の現在完了を表す接尾辞。
lai　晩来：p.143／日暮れになってきて。来は現在完了を表す接尾辞。
lai　別来：p.088／来は、上の動作の現在完了を表す接尾辞。
lai　来：p.027／……していた。動作の過去完了を示す。
lai　来：p.064／現在完了を表す助字。……して来た。当時の俗語。
lai　来：p.164／……して来た。現在完了を表す助字。
lai　来：p.329／……して来た。現在完了を表す助字。
lai　来：p.376／経験を示す句末の助字。……であった。……していた。当時の俗語。
lai　来：p.393／経験を表す句末助字。当時の俗語。
lai　頼：p.168／都合よく。当時の俗語。
lai　頼是：p.332／さいわいに。都合よく。当時の俗語。
lang　郎：p.327／あなた。女性が恋人を呼ぶ親称。
lao　労：p.361／多謝する（ねぎらう）。当時の俗語。
leng　冷澹：p.366／淡白。あっさりしていること。当時の俗語。澹は淡に同じ。

lian　連：p.161／満ちる。当時の俗語。
lian　連心朶：p.159／心を満足させる見事な枝。連は満の意。当時の俗語。（王鍈『詩詞曲語辞例釈』p.147）
liao　料看：p.156／推量する。当時の俗語。
liao　料取：p.088／取は、上の動作の結果を表す接尾辞。
man　謾：p.222／でたらめに。当時の俗語。
man　謾：p.331／漫。むやみやたらと。
man　謾：p.354／漫も同じ。空しく。いたずらに。当時の俗語。下の虚字と意味が近い。
man　謾：p.368／漫・慢も同じ。いいかげんに。当時の俗語。
ming　明朝：p.100／明日。当時の俗語。
na　那：p.296／奈何。どうして。
na　那：p.325／なんぞ。反語の副詞。六朝以来の俗語的用法。
na　那得：p.064／……してよいのか。いけないのではないか。当時の俗語。
na　那得：p.233／……していいのか。いけないのではないか。
neng　能：p.028／可能。
ni　泥：p.175／ねだる。泥も同義。
ni　擬：p.044／欲す。
ni　擬：p.092／必ず。当時の俗語。王鍈『詩詞曲語辞例釈』p.171 参照。
ni　擬：p.094／文語の欲に当たる。……しようとする。
ni　擬：p.147／欲する。
ni　泥：p.148／ねだる。当時の俗語。
ni　泥：p.151／柔言を以て求む。ねだる。
ni　泥他：p.396／やんわりとねだる。当時の俗語。他は動詞に軽く添える接尾辞。
nian　年顔：p.358／年齢相応の容貌。当時の俗語。
nian　拈：p.424／杯を手に取る。当時の俗語。
nong　儂：p.201／我。俗語的自称。
pa　怕：p.411／いやがる。
pi　匹如：p.013／匹似も同じ。譬如の意。相似る、さながら……のようである。当時の俗語。
pian　偏：p.181／ことさらに。
pian　偏：p.375／ことさらに。
pian　偏：p.433／ことさらに。
ping　平頭：p.256／数が丁度そろうこと。斉頭も同義。当時の俗語。頭は接尾辞。
ping　憑看竹下房：p.138／憑は請う。当時の俗語。看は世話をすること。
po　破：p.413／消滅する。当時の俗語。（林昭徳『詩詞曲詞語雑釈』p.121）
po　溌剌：p.097／魚がピチピチ踊り跳ねる音。当時の詩語。
pu　撲：p.304／満たす。当時の俗語。
qi　閑気味：p.044／閑適の気味。気味は趣。当時の俗語。
qi　気味：p.239／情趣。風格。当時の俗語。

qi　　気味：p.282／おもむき。当時の俗語。
qi　　欺：p.062／しのぐ。超越する。当時の俗語。
qi　　欺：p.110／あなどる。
qi　　乞：p.139／与える。給与。去声。乞求の場合は入声。
qi　　取次：p.201／あわただしく。当時の俗語。
qi　　其：p.488／乃ち。かくて。
qi　　其中：p.469／そこ。
qi　　其如：p.102／どうしたらよいか。どうにもならない。当時の俗語。
qi　　其如：p.143／いったいどうしようか。どうしようもない。
qi　　其如：p.331／どうしたらよいのだ。どうにもなるまい。
qi　　其如：p.386／どうにもならない。
qi　　豈是：p.386／どうして。是は接尾辞。
qi　　豈不以:p.478／豈は反詰の助字。以は理由を表す助字。疑いなく……だからではないか。
qi　　豈不以：p.524／まことに……だからではないか。
qiang　強：p.069／すぐれる。当時の俗語。
qie　　且：p.061／まあともかく。
qie　　且：p.107／まあ、ともかく。
qie　　且：p.118／もともと。当時の俗語。
qie　　且：p.147／まあ、ともかく。
qie　　且：p.453／論旨を転ずる接続詞。そもそも。いったい。
qie　　且夫：p.488／発語の辞。ところでまた。
qie　　且夫：p.516／発語の辞。さらに改めて言い出す時に用いる。
qie　　且夫：p.540／文を転じて、ゆるやかに説き起こす辞。
qin　　親看：p.353／みずから。当時の俗語。
qu　　帰去在：p.138／帰去は、帰って行く。在は、強い断定を示す句末の助字。当時の俗語。
qu　　去：p.275／ゆく。当時の俗語。
qu　　去：p.277／休官を推進させる意志を表す助字。当時の俗語。
qu　　去：p.302／動作の意志を示す接尾助字。当時の俗語。
qu　　去：p.357／行動の意志を表す助字。
qu　　去：p.381／……しに行く。動作の進行意志を表す句末の助字。当時の俗語。
qu　　去住：p.127／去と留。別れること。当時の俗語。
qu　　渠：p.036／彼の俗語。
qu　　此去：p.122／ここ。去は処の意。当時の俗語。
qu　　招去：p.058／去は招く意志を表す接尾辞。
qu　　看取：p.101／とくと見る。取は単なる接尾辞。当時の俗語。
qu　　図写取：p.413／写生する。取は意欲を示す接尾辞。
qu　　知取：p.029／知った。取は知の接尾辞。当時の俗語。
qu　　料取：p.088／取は、上の動作の結果を表す接尾辞。

que　却：p.035／今度は。同時の俗語。
que　却：p.074／さて、そこで。気持ちの転換を表す助字。当時の俗語。
que　却：p.196／再び。今度は。当時の俗語。
que　却：p.203／今度は。
que　却：p.350／再び。当時の俗語。
que　却：p.386／再び。当時の俗語。
que　却帰来：p.105／却帰は、もどる。来は動作の意志を表す接尾辞。
que　却帰来：p.211／却帰は、もどる。来は動作の意志を表す接尾辞。
que　却迴：p.071／帰ること。当時の俗語。
que　失却：p.299／失う。却は強めの接尾辞。当時の俗語。
que　失却：p.375／見失う。却は動詞を強める接尾辞。
que　失却：p.396／却は除去する意を添える接尾辞。
que　背却：p.332／見捨てる。却は排除する意を表す接尾辞。
que　忘却：p.170／忘れ去る。却は意味を強める接尾辞。
rao　饒：p.062／譲に同じ。ゆずる、劣る。当時の俗語。
rao　饒：p.250／譲歩する。当時の俗語。
ren　人家：p.165／私の家。人は、私、白居易自身のこと。
ren　認得：p.350／記憶している。認は記憶。得は完了を表す接尾辞。いずれも当時の俗語。
reng　仍：p.017／その上に。
reng　仍：p.117／おまけに。
reng　仍：p.137／その上に。
reng　仍：p.217／却って。当時の俗語。
reng　仍：p.350／却って。反対に。
reng　仍：p.361／仍旧。今までどおりに。
reng　仍兼：p.305／その上に……まで加わる。
reng　仍是：p.276／かえって……である。当時の俗語。
reng　已……仍……：p.402／連語。もう十分に……であるばかりか、更にその上……であるの意。
rong　容易：p.118／安直に。心易く。当時の俗語。
ru　儒有：p.526／儒者の中に以下のような人間がいる。『礼記』儒行篇に頻出する表現。
ru　如：p.288／比較の助字。於に同じ。……より。
ru　如今：p.065／現在。
ru　如今：p.330／今、今日。
ruo　若為・争向：p.184／文語の如何。どうしよう。どうしようもない。当時の俗語。向は単なる接尾語。
ruo　若為：p.296／如何。どのように。
ruo　若為：p.321／如何。どうして。六朝以来の俗語。
ruo　若何：p.077／如何。どうしたらよいか。何如は、どうかの意。

ruo　若教：p.415／もしも。当時の俗語。
ruo　若夫：p.507／発語の辞。ところで。
sa　灑：p.525／揮灑。筆をふるうこと。六朝以来の用語。
sha　愁殺：p.177／ひどく悲しませる。殺は強めの接尾辞。
shen　深：p.147／久しい。当時の俗語。
shen　深：p.388／多い。
shen　身：p.306／我。
shen　身後：p.335／死後。
shen　年深：p.225／深は久しい。当時の俗語。
shen　矧乃：p.478／まして。乃は強調の接尾辞。
sheng　剩：p.203／思いきり。当時の俗語。上句の多と意味は相近い。
shi　始：p.184／今まではともかく、これでやっと。
shi　始：p.290／やっと。
shi　始：p.554／あらたに。
shi　詩章：p.079／詩文。当時の用語。
shi　時時：p.148／しばしば。当時の俗語。往往も同義。
shi　時時：p.207／いつも。当時の俗語。
shi　時時：p.315／いつでも。常に。当時の俗語。
shi　是：p.524／於是。
shi　是謂：p.477／是為。指して断定する辞。
shi　是知：p.507／是は於是。接続詞。
shu　殊：p.362／猶。今になっても。六朝以来の俗語。
shui　誰家：p.193／何人。だれ。家は意味のない接尾辞。当時の俗語。
shui　誰能：p.074／そのような人のあることを期待する気持ちを表す。
shui　誰能：p.140／そのような人のあることを期待する気持ちを表す。
shui　誰能：p.151／そのような人のあることを期待する気持ちを表す。
shui　誰能：p.436／どうしてできようか。できない。誰は何ぞ。当時の俗語。
shui　誰論：p.111／勿論。言うまでもない。誰は、何ぞ。当時の俗語。
si　思想：p.438／思いめぐらすこと。
si　思量：p.331／深く思いめぐらす。
si　斯須：p.118／しばらく。暫時。
si　斯則：p.453／そうだとすれば。六朝末以来の文章用語。
si　斯則：p.524／これこそは。則は強調の助辞。
si　私心：p.288／心ひそかに。
si　似：p.010／比較を表す助字。於と同義。当時の俗語。
si　似：p.129／次句の於と同義。……より。当時の俗語。
si　似：p.302／比較を表す於の口語。……より。
sui　随事有：p.420／必要に応じて設ける。

sui　随分：p.160／例のごとく。当時の俗語。
sui　随分：p.432／随所に。当時の俗語。
sui　雖云：p.525／雖も。云は意味のない添え字。
sui　雖則：p.470／雖と同じ。『詩経』以来の用語。則は意味のない接尾辞。
suo　所：p.489／時。
ta　他時：p.062／将来。
teng　騰騰：p.070／悠々。のんびりしたさま。当時の俗語。
teng　騰騰：p.194／騰騰兀兀。うつらうつらしているさま。当時の俗語。
teng　騰騰：p.364／酔郷にさまようさま。とろとろ、うとうとと。当時の俗語。
tou　山頭：p.193／頭は名詞につく接尾辞。特に意味はない。
tou　頭：p.176／名詞につく接尾辞。
tou　文頭：p.007／頭は接尾語。当時の俗語。
tou　毛頭：p.234／頭は名詞につく単なる接尾辞。
tu　徒：p.002／空しく。馬鹿正直に。
wei　為：p.189／はた。いったい。おおむね下に疑問詞がつく。
wei　酬未得：p.338／未得酬の俗語的表現。
wei　唯応：p.369／きっと……であるはずだ。唯は応の単なる強めか。
wei　唯有：p.187／それ以外の景物は白居易の眼中になかったことをいう。
wei　嵬峨：p.194／酔ってべろべろになるさま。双声語。当時の用語。
wen　穏：p.029／忍耐づよく。当時の俗語。
wen　聞健：p.424／趁健。丈夫なうちに。当時の俗語。
wen　聞説：p.159／うわさに聞く。当時の俗語。
wen　聞道：p.161／聞くところによると。唐詩の常套語。
wen　問：p.302／向かい合う。当時の俗語。
wen　問何如：p.203／どうだ、どうだと尋ねる。
wu　無奈：p.203／どうしようもない。
wu　無妨：p.258／差し支えない。かまわない。当時の俗語。
wu　無妨：p.430／不妨。……しても差し支えない。
wu　無論：p.147／……を問わず。……にかかわりなく。
wu　免来無：p.209／再来から逃れられるか。無は疑問詞。
xi　惜：p.399／愛惜。いとおしむ。
xian　閑：p.328／そっと、人知れず。
xiang　向：p.054／於。当時の俗語。
xiang　向：p.119／在。於。前置詞。
xiang　向：p.167／於。
xiang　向使：p.525／もし。
xiang　向道：p.078／言ってやる。向は、……に。
xiang　西笑向長安：p.097／向字、底本は問に作る。いずれも方向を表す助字「……に」。向は

文語、問はその俗語。

xiang　若為・争向：p.184／文語の如何。どうしよう。どうしようもない。当時の俗語。向は単なる接尾語。

xie　些些：p.047／些少。当時の俗語。

xin　信：p.132／疑いなく。人の言うとおり。

xu　虚：p.133／はかなくも。

xu　須：p.069／ぜひとも……したい。

xu　須：p.094／ぜひとも……したい。

xu　須：p.161／ぜひとも……したい。

xu　須：p.392／ぜひとも……したい。

xu　須教：p.443／ぜひとも……させたい。

xuan　旋：p.304／漸。次第に。当時の俗語。

xuan　旋：p.341／たちまちに。当時の俗語。

xuan　旋旋：p.381／漸漸。だんだんと。当時の俗語。

xun　尋：p.137／常に。当時の俗語。

xun　尋：p.361／尋常。常に。当時の俗語。

xun　尋：p.377／尋便。すぐに。

yan　掩：p.555／全面的に行きわたらせる。

yan　掩映：p.288／おおいかくす。映も隠の意。双声語。当時の詩語。

yan　眼看：p.278／まざまざと見る。当時の俗語。人力では如何ともしがたい事態に対して用いる。

yan　偃亜：p.081／垂れ伏す。亜も俯すこと。当時の俗語。

yang　佯：p.333／うわべだけ、わざと……のふりをする。

yao　要勒：p.443／強要する。詳しくは蒋礼鴻『敦煌変文字義通釈』p.235～236 を参照。

ye　也是：p.436／やっぱり。当時の俗語。

yi　依前：p.317／依旧の俗語。もとのまま。

yi　意：p.149／風情。

yi　一：p.072／しばらくの間。

yi　一：p.180／しばらくの間。

yi　一：p.299／全く。

yi　一：p.346／ひたすらに。

yi　一向：p.404／ひたすら。当時の俗語。

yi　一時：p.176／一斉に。当時の俗語。

yi　一時：p.268／同時に。一斉に。

yi　一時：p.403／すぐに。即座に。六朝以来の俗語。

yi　一種：p.417／一様に、同じく。当時の俗語。

yi　一酔：p.171／ひたすらに酔う。

yi　一程：p.118／おおよその道程。当時の俗語。

yi　一道：p.398／ひとすじ。
yi　一半：p.220／半分。当時の俗語。
yi　一餉：p.037／ほんのしばらくの間。当時の俗語。
yi　還・亦：p.265／前と同様に。還は循環、亦は再現の語気。
yi　疑：p.007／擬。欲する。……しようとする。
yi　亦：p.167／そうだのに。
yi　亦何必：p.498／亦は、それだのに。何必は、どうして……する必要があろうか。なにも……する必要はあるまい。
yi　猶・亦：p.412／……でさえも。
yi　抑：p.533／転接の助字。それにしても。
yi　已：p.182／とっくに。
yi　已：p.270／とっくに。
yi　已：p.361／もはや。
yi　已……仍……：p.402／連語。もう十分に……であるばかりか、更にその上……であるの意。
yin　因：p.076／それをよい機会にして。
yin　因何：p.293／どうして。なぜ。当時の俗語。
yin　殷勤：p.352／いくえにもお願いする。動詞。当時の俗語。王鋏『詩詞曲語辞例釈』p.286を参照。
ying　得：p.354／贏得。結局のところ……だけが得たものとして残る。当時の俗語。
ying　応：p.315／すべて。当時の俗語。
ying　応須：p.119／……しなければならない。当時の俗語。
ying　応是：p.110／きっと……だろう。
ying　応是：p.302／きっと……だろう。当時の俗語。
ying　映：p.161／隠れる。当時の俗語。同色なので冴えないことをいう。
ying　暎：p.362／映。隠れる。当時の俗語。
ying　暎得：p.053／暎は隠に同じ。おおいかくす。価値をなくする。当時の俗語。得は可能を表す接尾詞。
you　還・又：p.184／還は循環の語気を含み、今年もやはり。又は添加の語気を含み、今年も重ねて。
you　又：p.177／さらにまた。添加を表す副詞。
you　尤：p.382／一層。
you　有：p.477／於と同義。『漢語大字典』巻三 p.2042 参照。
you　猶・亦：p.412／……でさえも。
you　猶：p.057／それでも。
you　猶：p.120／それでも。
you　猶：p.150／それでも。
you　猶自：p.470／猶と同じ。当時の俗語。自は意味のない接尾辞。

you　由来：p.252／元来。
yu　張与：p.121／……に向かってひろげる。与は於。向。
yu　余：p.324／例外として残す。
yu　与：p.188／於。……に対して。
yu　于以：p.507／『詩経』召南の采　・采蘋両篇に特徴的な表現。
yuan　原夫：p.487／発語の辞。そもそも。
yuan　原夫：p.548／そもそも。原因を推究する際に用いる発語の助字。
yue　月苦：p.319／月が恐ろしいほど冷たく冴えること。当時の用語。1213 詩の語釈を参照。
yue　曰：p.462／発語の助字。さて。『書経』『詩経』に多く見える古代の用法。
zai　帰去在：p.138／帰去は、帰って行く。在は、強い断定を示す句末の助字。当時の俗語。
zai　在：p.022／於と同義。前置詞。
zai　在：p.127／強い断定の語気を表す句末の助字。唐代の俗語。
zai　在：p.147／於。……に。
zai　在：p.165／於。
zai　在：p.293／強い断定を表す句末助字。
zai　在：p.341／強い断定を表す句末助字。当時の俗語。
zai　長在：p.209／在は持続を表す接尾辞。当時の俗語。現代語の～着に当たる。
zan　蹔：p.051／忽ち。当時の俗語。
zan　蹔：p.138／にわかに。当時の俗語。
zan　蹔：p.150／暫。たまたま。当時の俗語。
zan　蹔：p.353／暫。たまたま。当時の俗語。
zan　蹔：p.421／暫と同じ。やっと、はじめて。当時の俗語。暫来は詩題中の「方来］に当たる。
zan　暫時：p.173／短時間のうち。当時の俗語。
zao　早晩：p.166／いつ。当時の俗語。
zao　早晩：p.208／いつ。当時の俗語、疑問詞。
zao　早晩：p.274／いつ。当時の俗語。
zao　早晩：p.278／いつ。当時の俗語。
zao　早晩：p.442／いつ。当時の俗語。
zha　乍：p.234／突然。
zha　乍：p.257／思いがけなく。当時の俗語。
zha　乍：p.438／忽然と。急に。
zhan　斬新・依旧：p.193／斬新は、きわめて新しく。当時の俗語。依旧は、その反対の意味の副詞で、もとのままに。
zhan　斬新：p.353／真新しく。当時の俗語。
zhe　者也：p.539／文末を重々しく結ぶ助字。
zhe　遮渠：p.198／たとえ……であっても。さもあらばあれという訓は、わが国の慣習読み。遮莫、任他、侭管も同じ。当時の俗語。

zhe　這迴：p.209／這回。このたび。当時の俗語。
zhen　珍重：p.010／ありがたく思う。当時の俗語。
zheng　正：p.161／ちょうど都合よく。
zheng　正：p.429／ただひたすら。
zheng　正従風鼓浪・転作日銷霜：p.137／正は、ただ、ひたすら。転は、ますます。
zheng　争：p.107／どうして。当時の俗語。
zheng　争：p.129／どうして。反語の副詞。当時の俗語。
zheng　争：p.148／如何。どうして。反語の副詞。当時の俗語。
zheng　争：p.201／どうして。反語。当時の俗語。
zheng　争：p.387／どうして。反語の助字。当時の俗語。
zheng　争解：p.165／どうしてできよう。できるはずがない。当時の俗語。
zheng　争敢：p.420／どうして。反語。当時の俗語。
zheng　争得：p.025／どうして出来ようか。できるはずがない。那得も同義。那得は六朝以来、争得は中唐以後の俗語。
zheng　争奈：p.053／どうしようもない。当時の俗語。
zheng　争奈：p.332／どうしようか。どうにもならない。当時の俗語。
zheng　争奈……何：p.089／いかんせん。どうしようもない。当時頻用の俗語。
zheng　若為・争向：p.184／文語の如何。どうしよう。どうしようもない。当時の俗語。向は単なる接尾語。
zhi　指点：p.106／指さし示す。
zhi　至矣哉：p.539／この上なくすばらしい。嘆美の辞。
zhi　只合：p.369／ひたすら……しなければならない。
zhi　只是：p.127／ひたすら……するばかり。当時の俗語。
zhi　只是：p.231／ただ……だけだ。当時の俗語。
zhi　知：p.050／不知に同じ。いったい。
zhi　知：p.145／識も同義。良否を識別する。価値がわかる。
zhi　知：p.167／いったい。不知も同義。
zhi　知取：p.029／知った。取は知の接尾辞。当時の俗語。
zhi　知多少：p.385／いったいどれほどだろうか。定めて多いことであろう。多少は疑問詞。その上の知は、不知に同じ。いったい。
zhi　直：p.037／値に同じ。価値。
zhi　直：p.444／そのまま、ずっと。
zhi　直至：p.416／至る。直は意味を強める接頭語。当時の俗語。
zhong　終無：p.025／断じてない。終は下の打消の語を強める副詞。
zhong　水中：p.323／水面のなかほど。
zhong　中心：p.364／心中。中夜・中庭・中田の用例に同じ。
zhong　庭中：p.167／庭。中は場所を表す接尾辞。
zhu　去住：p.127／去と留。別れること。当時の俗語。

zhu　住：p.346／不動なことを表す助字。
zhu　著：p.188／句末に添えて命令を表す助詞。当時の俗語。
zhu　著：p.238／愛嗜。いとおしむ。六朝以来の俗語。（蒋礼鴻『敦煌変文字義通釈』p.282）
zhu　著：p.413／以て。当時の俗語。（蒋礼鴻『敦煌変文字義通釈』（第四次増訂本）p.471）
zhu　著酒：p.436／酒を嗜む。著は貪恋すること。六朝以来の俗語。
zhu　道著：p.211／言う、名のる。著は継続を表す接尾辞。着に同じ。当時の俗語。
zhu　留著：p.081／留めておく。保存する。著は着に同じ。動作の進行を示す接尾辞。
zhuan　正従風鼓浪・転作日銷霜：p.137／正は、ただ、ひたすら。転は、ますます。
zhuan　転：p.182／いよいよ。
zi　自：p.444／自業自得によって。
zi　独自：p.221／ただひとり。自は軽い接尾辞。当時の俗語。
zi　独自：p.278／ひとり。自は軽い接尾辞。当時の俗語。
zi　本自：p.094／本来。もともと。自は接尾辞。
zi　猶自：p.470／猶と同じ。当時の俗語。自は意味のない接尾辞。
zong　総是：p.242／すべて。当時の俗語。是は単なる接尾辞。
zu　長足：p.404／十分に伸びきる。
zuo　呼作：p.421／呼びなす。作は定着を表す補助動詞。
zuo　坐：p.175／じっとしたまま。
zuo　坐：p.229／そのまま、じっと。

岡村繁『白氏文集 四』（明治書院・新釈漢文大系、1990 年）の語釈から、俗語に関係するものだけを抜き出したものです。
本冊が刊行されたとき、岡村先生がとても嬉しそうに、「入矢（義高）先生から、ひとつも直すところがない、と言われた」とおっしゃっているのを耳にし、抜き書きを作成しました。
よろしかったら、［電子資料］の［『白氏文集』を読むための俗語辞書総索引］ともあわせてご利用ください。